

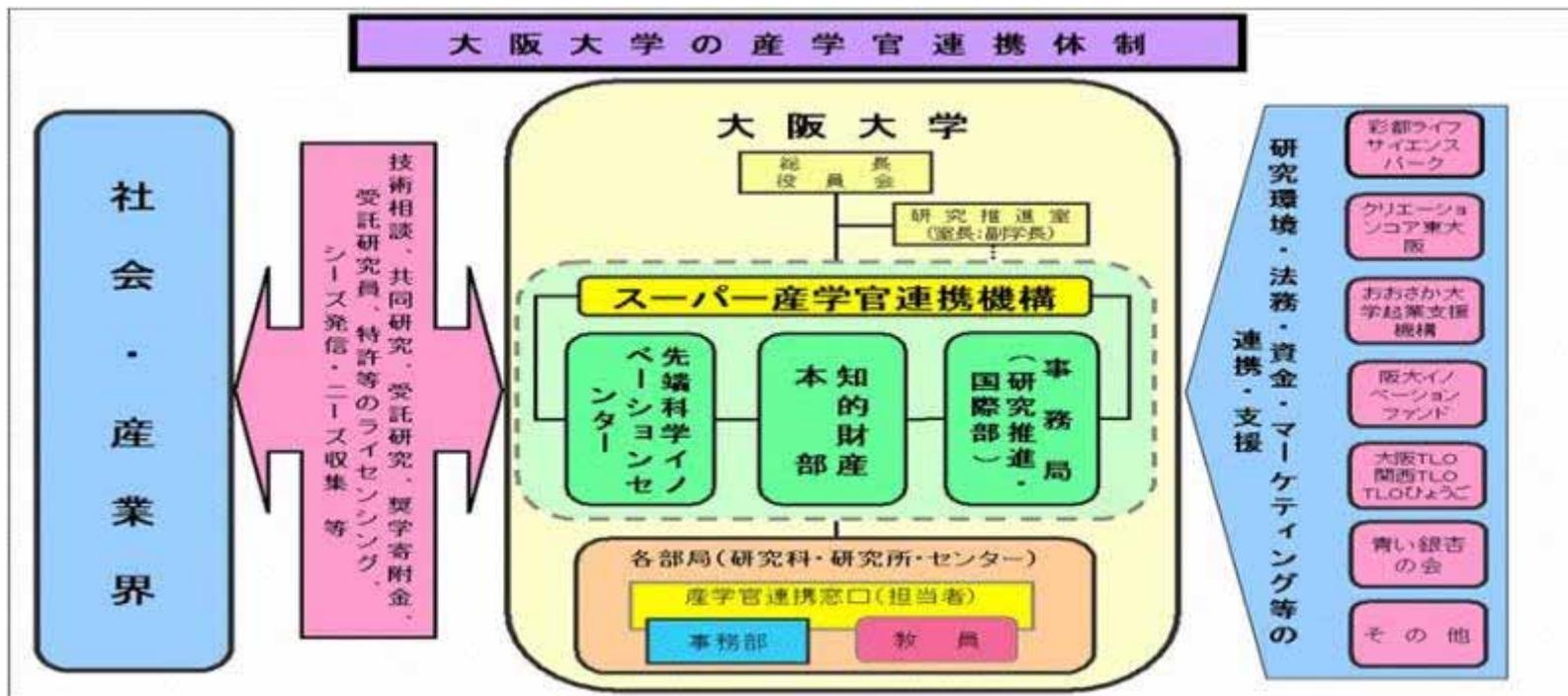
スーパー産学官連携本部の体制事例

- 大学知的財産本部を核とした産学官連携の新しいスタイル -

大阪大学・スーパー産学官連携機構

主な取り組みとして、企業の大学への投資、学内での企業活動を容易にするシステムを構築し、新産業創出拠点を目指すインダストリー・オン・キャンパスを構想。その導入のため、企業が共同研究経費や人材を投入し、産業界のニーズを反映した研究を行う共同研究ユニット（仮称）制度の新設、共同研究のための建物・施設・大型装置の新設・整備・開放を実現する。

また、強力なリーダーの下で外部・若手人材をスーパーコーディネータとして育成するとともに既存コーディネータを有機的に結びつけ、研究者や知財の把握から活用まで出口を見据えたマネジメントを行うプロジェクトフォーメーションの構築、海外産学連携拠点の整備、技術分野横断的に各種施策・活動をリンクする基盤技術産業化バリューチェーンの構築、産業界で活躍するリーダー人材の育成、強力かつ組織的な実務サポート体制の構築を実施していく。



スーパー産学官連携本部の体制事例

- 大学知的財産本部を核とした産学官連携の新しいスタイル -

奈良先端科学技術大学院大学・産官学連携推進本部

本学の産官学連携推進本部は、全研究室の全知的財産を把握すること、厳格な評価体制を設けていること、さらには大学内に整備されたTLO機能により発明の発掘・市場性評価・特許出願・技術移転を一連の業務として扱うことを特色とするナレッジマネジメントを行っている。

また、このナレッジマネジメントをベースに、海外戦略、クラスター戦略、研究・教育戦略の3つを柱にすえ、3部で連携しながら業務分担を行っている(下図参照)。

海外戦略: 海外の企業や大学との連携、海外企業と地域企業とのコーディネート

クラスター戦略: 関西文化学術研究都市「けいはんな」で生まれた知的財産に、本学のノウハウの適用を図り、地域全体としての活性化

研究・教育戦略: 本学の最先端知的財産の蓄積と、全国大学トップレベルへ導いた技術移転等の机上の理論だけではないノウハウの提供。

